

大山の生い立ち

大山は、約 100 万年前に始まり、約 10,000 年前に終わった火山活動によって形成されました。60 万年から 40 万年前に起こった、大山形成の初期として知られる時代に、大規模な火山活動が船上山、甲ヶ山、矢筈ヶ山をつくり出しました。それから大山は約 10 万年間休止していましたが、約 30 万年前に火山活動を再開しました。大量の火砕流や火山灰を伴う爆発的噴火は、今日の大きな山の基盤を形成しました。この時代は、大山形成の後期として知られています。この時期には、大量のガスと火山灰が噴出した一連の火山噴火が発生しました。この時期に流れ出した溶岩が、三鈷峰、弥山、烏ヶ山などのドーム状の溶岩円頂をつくり出しました。